宇都宮市のまちづくり情報誌

まちぴあ

身近なつながりに出会おう

No.40
2022.1
冬号

UTSUNOMIYA MACHIPIA

TAKE FREE
無　料

ほっとねっと
DAIZZY'S（ダイジーズ）

まちぴあ登録団体紹介
宇都宮トーストマスターズクラブ
／こそだてひろばよりみち隊

まちづくりリレーコラム
継続は力なり
～放り出しても拾い直せばいいじゃない

特　集
宇都宮のニューツーリズム
非日常の空間「若竹の杜」を訪ね歩く。

竹って愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

竹林に降り注ぐ美しい木漏れ日。闇に浮かび上がる幻想的なライトアップ。昼と夜で表情がガラリと一変

宇都宮のニューツーリズム

非日常の空間「若竹の杜」を訪ね歩く。

失われつつあるものと、生まれてくるもの。
人と自然が共生する未来へ。

竹あかり総合プロデュース集団「CHIKAKEN（ちかけん）」とのコラボで空間を演出

話題の観光スポットが、いまに教えてくれること。

そよ風に揺れる笹鳴りの調べ。ライトアップされた竹林と幻想的で温かみのある竹あかり。一歩足を踏み入れると、そこはまさに幽玄の世界……

宇都宮市の北部、日光街道を少し入ったところに、若竹の杜「若山農場」はあります。約10万本を有する日本一の面積を誇る竹林です。

ＳＮＳなどで注目されたことをきっかけに、フォトジェニックな散策スポットとして広く知られるようになり、コロナ禍で全国的に観光産業が大きな打撃を受ける中でも、右肩上がりに来場者を増やし続けています。

「自粛疲れで余暇の過ごし方を模索し、密にならない空間を探していたのだと思います。キャンプなど野外レジャーの人気も後押ししてくれました」そう話すのは、竹林を管理する運営会社代表の若山太郎さん（53）。都市空間に竹の植栽を進める第一人者として活躍しながら、１００年以上続く農場の三代目として、経営を引き継いでいます。

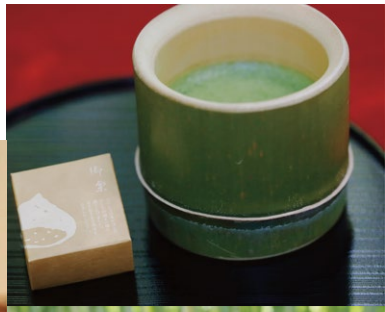
映画のロケ地として使われたこの地を訪ねる人が増え、有料での一般開放を始めたのが約5年前。以来、来場者のニーズに耳を傾けながら、散策ルートや施設を少しずつ整備して、四季折々の自然の美しさと、竹が本来持っている奥深い魅力に触れられる空間づくりを目指してきました。

そこには、地域資源を高付加価値化するだけでなく、体験交流によって地域内での利益還流を生み出すニューツーリズムの視点が見て取れます。

日本一の広さを誇る見渡す限りの竹林。その美しい若竹色の広がりは、竹の林ではなく、もはや竹の杜

竹林の中でコンサートが開かれたり、食事会や撮影会が行われることも。家族みんなが楽しめるような竹細工の体験プログラムも人気

笹鳴りの音に包まれて過ごすキャンプを野宿と呼び、竹と竹の間に結びつけるハンモックタイプの特製テントで宿泊します（一般のテントは利用不可）



春は筍狩り、夏はブルーベリー摘み、秋は栗拾いなど四季折々の自然を満喫できます。茶屋では抹茶を楽しむこともでき、竹器はそのまま持ち帰りもOK

「私たちが、日本の原風景ともいえるこの竹林を毎年休むことなく徹底管理していることと、竹材を有効活用することは、カーボンニュートラルそのものなんです。実際に竹に触れて、竹について知って、竹をもっと好きになってもらいたい」

体験学習などの問い合わせも増えており、脱炭素社会の実現に向けて、環境問題にも関心を持ってほしいというのが若山さんの願いです。

アフターコロナで観光復興へ期待が高まるいま、宇都宮餃子や巨大な地下空間で人気の大谷地区など、他の地域資源と連携することで、観光地として宇都宮のポジショニングを高めることもできるはず。

「地元食材を楽しめるレストランの出店。滞在型で人々との交流を深められる体験メニューの充実など、あせらずできることから着手してきたい」と、若山さんは今後のビジョンについて話してくれました。

日々進化を遂げる若竹の杜から、ますます目が離せません。

Taro Wakayama Profile

若山　太郎 さん（53）

1968年宇都宮市出身。東京農業大学卒業後、東京都内の造園設計・施工管理会社勤務を経て現在、株式会社ワカヤマファーム代表。筍と栗の生産販売、竹苗生産販売を生業とし現代的な空間の中への竹植栽を推し進めている。近年は、竹林を観光資源として一般開放し、グリーンツーリズム（農山村にて自然、文化、人々との交流を楽しむ体験型の余暇活動）の一躍を担う。全国竹産業連合会副会長、竹文化振興協会理事ほか

若竹の杜
Four Seasons Bamboo Forest
若山農場
WAKAYAMA FARM Inc.

若竹の杜　若山農場

〒320-0075 栃木県宇都宮市宝木本町2018
TEL. 028-665-1417
FAX. 028-665-4428
https://www.wakayamafarm.com

運営会社：株式会社ワカヤマファーム（農地所有適格法人）

Bamboo Winter Lights 2021 開催中［2022年2月27日まで］

営業時間　月～木　9:00～17:00（最終受付16:30）
　　金土日祝　9:00～20:00（最終受付19:30）

※ライトアップの開始時間は、日没時間により異なります
入場料、営業時間など詳しくはホームページをご確認ください

まちづくり活動仲間が目指すもの

ほっとねっと No.40

よさこいで宇都宮を笑顔に

いまや全国各地で祭りが開催される「よさこい」でも、ここ宇都宮市では、いまいち盛り上がりに欠けるのが現状です。「宇都宮といえば餃子」と並んで「宇都宮といえばよさこい」といわれるほど宇都宮によさこい文化を広めたい。そんな大いなる夢を抱いて活動するよさこいチームを取材しました。

「名前に込めた想い」

宇都宮市内を拠点に活動しているよさこいチーム「DAIZZY'S（ダイジーズ）」。「よさこいで宇都宮を盛り上げたい！」という想いを持つ団体で、未就学児から40代までの約40名のメンバーで活動しています。チーム名は、栃木県の方言である「だいじ（大丈夫）」と「仲間を大事に」という二つの意味を掛け合わせてつけられました。

練習風景。とても集中しています

県内イベントへの参加のほかに、健康をテーマによさこいの動きを取りいれたトレーニングを行ったり、社会貢献として介護施設などに出向いて踊りを披露し、利用者の皆さんと直接触れ合う活動もしています。

また、今年度は宇都宮市市民活動助成金の交付を受け、「宇都宮の復興」をテーマにしたオリジナルの曲を作成しました。振り付けは2月完成予定です。

「頼れる仲間の存在」

海外ボランティアで歴訪していたインドやカンボジアの孤児院で、日本文化を伝えるためによさこいを教えていた代表の吉村さんが、帰国後、よさこいの楽しさをもっと深く学びたいと2008年にダイジーズを立ち上げました。

当初は、宇都宮によさこいという文化が全くなかったことから、一から作らなければならないさまざまな苦労があったとか。「仲間を自分が引っ張らなきゃいけない」という思いもあって、一人でなんでもこなさなければならず、体力的にも精神的にも大変だったそうです。それがいまでは、練習を始める前の挨拶や準備体操の号令を、子どもたちが積極的にやってくれて、一人で抱え込んでしまいそうになっていると、「これならできるよ」「これ手伝うよ」とメンバーが助け船を出してくれるそうです。

笑顔が素敵な皆さんです！

「逆境をチカラに！」

新型コロナ感染の拡大にともない、イベントや施設訪問などの活動中止を余儀なくされることも多い現在。「そんな状況だからこそ、よさこいで元気や勇気を届けることもできるはず」と、オンラインのイベントに参加したり、日々の練習でもできることに集中する吉村さん。

「対面でのコミュニケーションが困難なときでも、演舞を通じて人と人とのつながりを深く実感できる。そんなよさこいの魅力をもっとたくさんの人に知ってほしい」

逆境を乗り越えて、さらなる進化を遂げていくダイジーズには、人々を笑顔にするチカラがあります。その笑顔の輪が広がって、やがて宇都宮の地によさこい文化が根付き、いろとりどりの花を咲かせる日が待ち遠しいかぎりです。

メンバー募集のチラシ。オリジナルのイラストがとても印象的

DAIZZY'S（ダイジーズ）

TEL. 080-6596-9880（担当：尾池）
E-mail: daizzys@outlook.jp
練習会場：トライ東、豊郷南小学校、西小学校
練習日：毎週木曜日、第2・第3日曜日

取材後記

子どもたちが率先して号令をかける姿や、若手メンバーが年上のママさんメンバーに振り付けを教える姿など、ひとつのものを全員で完成させようとする姿に感動しました。取材後、私も入会することに決めて、一緒によさこいの練習をしています。（入江）

ちょっと気になる コレクション

技術者の発想で唯一無二の折り紙

色紙で折られたメリーゴーランド。爪楊枝を軸に取り付け、実際にクルクル回るかわいらしい作品です。

作ったのは、織炎灯の山口さん。玩具メーカーで開発を担当していた技術者ならではの視点や発想で、オリジナリティ溢れる作品を創作しています。

織炎灯の山口さん

このちいさな世界にも、いろいろな手法を組み合わせたり、環境にやさしい素材を使うなど、たくさんのこだわりが垣間見えます。

「作っている最中にも次々とアイデアが浮かぶ」と話す山口さん。次の目標は観覧車、将来は遊園地のジオラマにまで発展するかもしれません。

できあがった作品は施設に寄贈したり、友人のお店などに展示されています。まちぴあにも展示してありますので、ぜひお楽しみください。

精巧で滑らかに回転するメリーゴーランド。欲しい方は要相談

織炎灯

お問合せは「まちぴあ」まで
栃木県宇都宮市元今泉5-9-7
TEL. 028-661-2778

とっておきの 関心空間

心に寄り添う みんなの保健室

2020年9月に宇都宮市伝馬町にオープンした「サロンみんなの保健室」では、専門的な知識を持った看護職と社会福祉士などが健康相談を行っています。新型コロナの広がりの中、何となく体調が悪いと感じる方が増えており、心身のケアにも力を入れています。

飲食店だった場所を繋がりのあったオーナーが想いに共感して無償貸出。安心できる雰囲気にしたいと白を基調にした壁紙に張り替え、利用者はカフェのような落ち着いた空間で気兼ねなく相談することができます。

長年看護師として勤めていた理事長の渡邊さんは「孤立化しやすい社会で、健康や身体の悩みを相談できる場がない。悩みや不安を軽減し健康意識が高まるように今後も活動していきたい」と話してくれました。

NPO法人 サロンみんなの保健室

〒320-0035 宇都宮市伝馬町4-31
開館：毎週火･水･木曜日
14:00～18:00（事前予約不要）
TEL. 028-601-7005
料金：相談無料、測定一部有料
URL: https://minnano-hokenshitsu.net/
E-mail: minnanohokenshitsu@sea.ucatv.ne.jp

おしゃれな内観で来られた方に寄り添う

MACHI DUKURI TOPICS

「まちづくりって何？」
そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちぴあから“まちパワー”を発信します!!

うつのみや発の 話題人

写真家が思い出作りのお手伝い

三児の子育て中のママであり、写真家として多方面で活動されている秋元さん。

家庭の事情（主にシングルマザー・ファザー世帯）や経済的に七五三の旬な写真が撮りたくても撮れないご家庭のために、記念に残る一枚を撮ってあげたいと2021年にボランティア団体を立ち上げました。

ヘアメイクや着付けはもちろん、場所も公園など、ご家族の希望に添ったオリジナルの撮影を行っているそうです。「カメラを向けると最高の笑顔を見せてくれるんです」と秋元さん。

コロナ禍で思うように活動できないながらも「今後は七五三のみならず、ご依頼があればいろいろと撮影ボランティアの場を広げていきたい」と嬉しそうに話してくれました。

秋元 真理 さん

M’s more代表／写真家
趣味：旅行、ガーデニング
好きな時間：子どもと一緒にピアノをひいている時間

手作り撮影スタジオ「WHITE ROOM」での撮影も可能です！

世界に通じる発信力を高める場

1924年にアメリカで創設され、世界143ヵ国に会員がいるトーストマスターズクラブ（TMC）は、パブリックスピーキングとリーダーシップを学ぶことができる、国際的な非営利教育団体です。日本では約2300の拠点に4000人以上の会員がおり、まちぴあで活動している宇都宮TMCもその一つです。

TMCでは、自分の伸ばしたい能力に応じてカリキュラムを選択し、スピーチやプレゼンテーションを練習することで、コミュニケーション能力やリーダーシップを高めることを目的としています。

宇都宮TMCは、例会の前半が日本語で後半が英語のため、生きた英語を学びたい方にもピッタリ。講師がいるわけではなく、会員同士がお互いフィードバックを通し学びあっていくことも特色の一つとなっています。それぞれの目標を達成し、成長していくことにもやりがいを感じるそうです。

宇都宮TMCでは、毎月第一日曜日に例会を開催しており、随時メンバーを募集中です。入会の条件は18歳以上で、性別国籍を問いません。コミュニケーション能力やリーダーシップを伸ばしてみたい人は、ぜひ一度ご参加してみては？

TMCでは随時会員を募集中です

【団体名】 宇都宮トーストマスターズクラブ

【活動場所】 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ
【Facebook】 https://www.facebook.com/utsunomiya.toastmastersclub/
【ホームページ】 https://utmcsite.wordpress.com/

悩んだときの拠り所に

知人と学生服の販売リユース事業を開始

以前、市内でマルシェの企画・開催をしていた橋本さん。

子育てに専念するため一時活動を停止していましたが、自分が応援してもらっていた頃の恩返しをしたい、特に子育てをしている人を応援したいと、仲間と学生服の販売リユース事業を開始。主に高額となりがちな県内私立高校の制服を中心に取り扱っています。

事業を通じてお母さんたちの声を聞いているうち、いくつになっても子どもの悩みは尽きないこと、年少の子どもを対象とした子育てサロンはあっても中高生以上の子を持つ親が相談する場が少ないことから、つねづね交流の場所を作りたいと考えていたそうです。

そんな折、縁あって昨秋に「だがし屋ちび天堂」の2階へと拠点を移しました。ざっくばらんな会話の中、深刻な悩みを打ち明けてくれるケースもあって、その際は、他の支援団体を紹介するなど、コーディネートの役割も担っています。

今後は、母親のお茶会やシングルファザーの集いを開催するほか、中高生が寄り道して親や学校には言えないことを心開いて話せる、信頼できる存在となることを目指しています。

敬老の日のイベントでワークショップを開催。
地域との連携も生まれています

【団体名】 こそだてひろばよりみち隊

【活動場所】 〒320-0837 宇都宮市弥生2丁目8-10だがし屋ちび天堂2F
【連絡先】 hightouch723@gmail.com
【活動内容】 https://www.instagram.com/high_touch723/

まちづくりリレーコラム vol.11

小倉 克洋 氏

継続は力なり ～放り出しても拾い直せばいいじゃない

「継続は力なり」って言葉がありますね。いい言葉です。ですけど、個人的には一つの道に打ち込んで、極めるまで諦めないという意思も感じられることもあり、ちょっと格好良すぎるかな？と思ったりもします。

ボランティア活動に触れていく中で、これまで自分が興味を持って取り組んできたもの（スポーツ、運動、趣味など）が特技となって、自分も周りも楽しませることで、より活動に磨きがかかっていくことがあります。私の場合のバルーンアートがそうですね。これもある意味「継続」しているからできているものだと思います。

子どもたちに頼まれて作品をつくると、天才！　などと持ち上げてくれる場合もありますが、バルーンばかりやっているわけではなく、何だかんだと一年以上の試行錯誤があって何とか形になる場合も少なくないので、とても天才とは思えませんけども。ただ言えることは、できない時期もあるけれど、キライにならないで続けた結果だということなんですよね。格言のごとくパチッと言えませんが、「放り投げても拾い直して続けてきた」ということです。

昨年の9月くらいまでは、感染症の影響でバルーン活動ができませんでした。自分のためだけでなく、リアクションをくれる人たちがいないので、寂しい。やる気にならない日々が続きました。やめてもいいじゃんと思いもしました。だからこそ、こうしたときは、一旦放り出していいんじゃないでしょうか。他にできることや、やっておいた方がいいものを見つけて取り組み、できる環境を整えていく。やりたいことに直結していなくても、回りまわって活きてくるかもと考える工夫をしていくことが、これまでの感染症騒動で得た個人的な学びだったと思います。

好きなことは、放り出してもそうそう腐らないと思いますね。たしかに技術的・体力的なものは一時とくらべれば見劣りするでしょうが、好きなことならとり戻せますよ。急には無理でもそんなに遠くないうちにできます。また、とり戻している最中も楽しみましょう。

こうした気持ちになったのは「まちぴあ」で、感染症下の活動に悩む団体の皆さんの相談に対応させてもらったからです。お話ししていく中で、ときにはこだわり過ぎないで、できることをやっていくのもよいという結論が生まれました。最近になって、小学校での活動依頼をいただくようになると、休止中に試したことも応用している自分がいました。紆余曲折あっても続けていれば、なんでも力になるんですよね。

小倉（おぐら） 克洋（かつひろ） プロフィール

NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事、こくら工房代表。宇都宮市まちづくりセンターのセンター長を務める傍ら、小学校等で子どもたちを対象にしたバルーンアート創作活動を行っている。趣味はゲーム、お経、時代劇鑑賞

書籍紹介 まちづくりを考えるこの一冊！

なつめさんち　著

「それでもやっぱり絵が描きたい！」

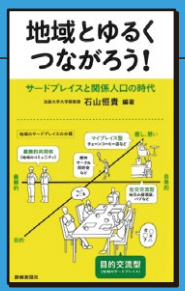
マイナビ出版
2021年7月発行

このコーナーでは市民のみなさん、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちぴあ広報部へ。

まちぴあ書庫からPICK UP!

「○○したい」仲間が集まる　ゆるやかな関係人口が生み出した地域活性化事例集

本書は、「○○したい」という個人や仲間内のちいさな共通目的からスタートした、目的交流型事例を多数紹介しています。組織（居場所）を作ってから活動をはじめるのではなく、まずはやってみて、その活動が好きになったファンが集まってできた集合体。関係人口とは、定住でも観光でもない関わりを持ち、定期的にその地域に訪れる人たちを表す一種のファンとも呼べる人たちのことで、昨今の地域づくりにおいて注目されています。サードプレイスは、家庭でも職場でもない、自治会やサークルなど第3の居場所を指す言葉ですが、案外、職場や地元の人間関係を引きずることもあり、真に自分のしたいことができないこともあるそうです。活動のときだけに限定した濃密すぎない「ゆるい関係」によって、地域そのものをサードプレイスにするという視点を持つことが、地域発の個性的な地方創生の在り方につながることを示した一冊です。



『地域とゆるくつながろう
～サードプレイスと関係人口の時代～』

石山恒貴　編集・著
静岡新聞社　2019年10月発行

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

まちぴあの施設をご利用の際は、十分な感染症防止対策を実施するようお願いします。

- マスク着用や咳エチケットの徹底
- 発熱や咳などの風邪症状がある人は参加させない
- 時間短縮、規模縮小など必要最低限の利用に留める
- こまめな手洗い、消毒等の実施
- 近距離、対面での会話をしない
- 室内での十分な換気
- 館内での飲食は行わない
- 高齢者や基礎疾患のある方など、感染リスクの高い方の参加を控える

まちぴあ施設利用についての情報はホームページ等で告知しますので、最新の情報をご確認頂くようお願いします。

イベント情報

令和4年度 宇都宮市市民活動助成金説明会

宇都宮市市民活動助成事業をご存じですか。宇都宮市内で活動するボランティア団体やNPO法人の皆さんを対象とする助成事業で、令和3年度までの18年間で200団体以上の団体が活用しました。この説明会は、事業の概要をご紹介すると共に、実際に交付を受けた団体へのインタビューも行います。ぜひ、ご参加下さい。

日時　1月25日(火) 18:30～20:00
会場　宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ 研修室 AB
定員　10名
お問合せ　まちづくりセンターまちぴあ

更新情報

まちぴあ登録団体の皆様へ『団体登録更新のお知らせ』

令和4年1月より新年度（令和4年4月～令和5年3月）の団体登録更新を受け付けます。更新がない場合、研修室利用などに不都合が生じますので、更新手続きはお早めにお願いします。

送付方法　団体登録書は、封書、FAX、来館にて受け付けています。
※減免申請書については、直接まちぴあ窓口までご提出ください

期日　令和4年3月15日まで

市民活動助成基金 ご協力ありがとうございます

- 株式会社 創建設計
- 高全工業 有限会社
- 株式会社 ベル電気設備センター　（敬称略）

市民活動助成基金とは

宇都宮市では、ボランティア活動やNPO活動を活発にし、全市的に広げていくため、これらの活動を市民、企業、行政のみんなで支える仕組みとして「市民活動助成基金」を設置しています。

この基金は、市民の皆さんによる「市民活動を応援する気持ち」である寄附金を積み立てるとともに、宇都宮市が寄附金と同額を

宇都宮市役所　みんなでまちづくり課
まちづくりグループ　TEL.028-632-2288
URL:　http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/
※トップページ▶(分野別で探す)
市民協働・コミュニティ
▶ボランティア・NPO

まちぴあ新規登録団体 （2021年10月31日現在　登録団体数 204団体）

TABUWATA
多文化共生に関する課題・取り組みのための相談やコーディネーション、広報、研修会・イベント等の各種活動を行う

横笛の会
横笛演奏を通して、シニア世代の交流を行い、地域の文化芸術振興に寄与する

虹の会
俳句作りを通じたシニアをはじめとした世代の交流と宇都宮市の文化芸術振興に寄与する

Adventure1701 クロスロード
交流・福祉・学習支援などの居場所を開設・運営することで、地域コミュニティの活性化などの社会貢献を目的とする

植木鋼材株式会社
市民活動活性化に関する事業及び行政・営利団体・市民活動団体がそれぞれの特性を活かして協働するための事業を行う

ヨーガ今・ここ
心と体を一つとしたゆるやかな動きで行うヨーガにより、心身のバランスを調え、誰もが心身ともに健康で楽しく生活することを目指す

宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ
（指定管理者：認定NPO法人　宇都宮まちづくり市民工房）
〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7
TEL.028-661-2778／028-661-2779
FAX.028-689-2731
E-mail: info@u-machipia.org　URL: http://www.u-machipia.org

開館時間　午前9時から午後9時30分まで（日祝は午後5時まで）
休館日　年末年始（12月29日～翌年1月3日）
臨時休館（施設点検等）
JR宇都宮駅東口から徒歩15分　駐車場28台

まちぴあ情報誌の音訳版もございます。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。

2022年1月1日発行　編集・発行　認定NPO法人　宇都宮まちづくり市民工房　宇都宮市のまちづくり情報誌「まちぴあ」